



上海事務所

NCB 海外レポート

中国ビジネス最新事情 ①

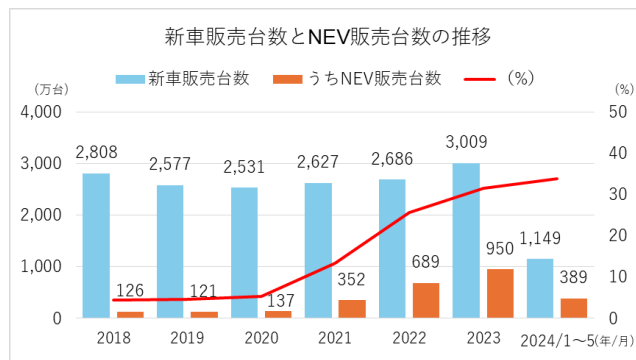
～中国の NEV 市場最前線～

◇ はじめに

- 中国では、急速な勢いで新エネルギー車（New Energy Vehicle：以下、NEV）の販売が増加しています。中国汽车工業協会の発表では 2023 年の新車販売台数 3,009 万台のうち、NEV は 950 万台と新車販売の 32%を占めており、2020 年の 5%から大きく上昇しました。今回は著しい発展を遂げる中国の NEV 市場をご紹介します。

◇ NEV について

- 中国政府の定義では、NEV には、電気自動車（EV）、プラグインハイブリッド車（PHEV）、燃料電池車（FCV）が含まれます。このうち、現在主力となっているのは EV で、2023 年末時点の NEV 保有台数 2,000 万台のうち、76%強を占めています。
- 中国では、EV 販売台数世界一を誇る BYD（比亞迪）といった大手メーカーから小米（シャオミ）などの新興メーカーがあり、大衆車から高級車まで幅広い車種を取り揃えています。消費者はショッピングモール内の展示場で気軽に EV を試乗し、気に入ればネットから注文することが出来るなど、便利な購入環境が整備されています。
- 一方、EV 市場では、充電インフラの不足、航続距離の短さ、寒冷地におけるバッテリー性能の低下、使用済みバッテリーの廃棄といった課題を抱えています。



◇ NEV の課題克服に向けて

- 中国政府は、現在中国全土で約 1,000 万台設置されている充電インフラを、2025 年を目途に 2,000 万台分へ倍増させる計画を公表し、国を挙げた EV 推進策に取り組んでいます。
- 従来の EV の航続距離は小型車で 100～200km 程度、大型車なら 400～500km 程度とされていましたが、バッテリー世界最大手の CATL（寧徳時代新能源科技）は、最大航続距離 1,000 km、10 分間の充電で 600 km 走行ができるバッテリー「神行 PLUS」を発表し、また BYD は 2,000 km 以上走行ができる PHEV を発売しました。
- また、バッテリーの研究で有名な華中科技大学（湖北省武漢市）の研究者は、マイナス 50 度でも稼働するバッテリーや、簡単かつ効率的にバッテリーをリサイクルできる手法を開発しています。



ショッピングモール内に展示されている NEV

◇ まとめ

- このように、中国では産学官が密に連携しながら、NEV の課題克服と普及に注力しています。世界中で NEV への関心が高まるなか、今後も中国の NEV 動向が注目されます。

2024 年 6 月 27 日作成

西日本シティ銀行 上海駐在員事務所